

地域人材ネット

地域の食のブランド化とワークショップによるプロモーション 事業

金丸弘美

(カナマル ヒロミ)

有限会社 万来社 食環境ジャーナリスト、食総合プロデューサー



○ 登録者情報

所在地

大阪市

略歴

食環境ジャーナリスト、食総合プロデューサー。執筆活動のほか、食の総合プロデューサーとして、食育と地域づくり、食のブランド化、農村観光、連携させた食のワークショップのプランニングから、プロモーション、ツアーへの展開といった食のアドバイザー事業を手がける。食の調査からテキスト化を行いブランディングし、ワークショップで食べ方を提案、プロモーションにつなぐ活動は大きな評価を受けている。総務省地域力創造アドバイザー/内閣官房地域活性化応援隊地域活性化伝道師、学校給食等地場食材利用拡大委員会委員(農水省)、小笠原諸島振興開発審議会委員(国土交通省)、高知県観光特使、食の至宝 雪国やまがた伝統野菜PR大使(山形県)、香川県さぬきうまいもんプロジェクト実行委員会委員、特定非営利活動法人発酵文化推進機構特任研究員、エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議アドバイザー、明治大学農学部食料環境政策学科「食文化と農業ビジネス」兼任講師、フェリス学院大学国際交流学部専門科目「地域と食文化」非常勤講師、日本ペンクラブ会員環境委員会副委員長、ライターズネットワーク相談役

著書・論文等

著書に『地域の食をブランドにする！食のテキストをつくろう』(岩波ブックレット)、『田舎力 ヒト・物・カネが集まる5つの法則』(NHK生活人新書)、『食にまつわる55の不都合な真実』(ディスカヴァー携書)、『田舎の力が 未来をつくる!ヒト・カネ・コトが持続するローカルからの変革』(合同出版)、『美味しい田舎のつくりかた: 地域の味が、人をつなぎ、小さな経済を耕す』(学芸出版)、『里山産業論 「食の戦略」が六次産業を超える』(角川新書+)、『実践! 田舎力ー小さくても経済が回る5つの方法』(NHK新書)、『幸せな田舎のつくりかた 地域の誇りが人を繋ぎ、小さな経済を動かす』(学芸出版) など多数。著書30冊、共著・企画・編集を手掛けた本に37冊がある。

〇 地域の食のブランド化とワークショップによるプロモーション事業

取組の内容

食材のテキスト化は食のブランド化、食と観光、食育、六次産業の具体化に繋ぐものです。食材の品種、栽培歴、栽培法、栄養価、環境、歴史、文化、数量、収穫時期、味、香り、見た目、触感、食べ方までをまとめるものです。こうすることで誰でもが具体的に商取引や子供たちの教育の場で語るできるようになります。効果の大きなものにプロモーションがあります。テキストがあれば、新聞、雑誌などに正確な記事を書いてもらえます。取引先のバイヤーにも説明がしやすくなります。農産物直売所、道の駅、料理家や料理店もテキストがあれば素材の特徴から料理を紹介することができます。農家と連携した体験学習でもテキストがあれば農家も先生になれ体験観光になります。食のワークショップとは、地元の食材を使い、参加型で実際に料理を作り、どんな料理と味わいになるのかみんなで体験をするものです。四季ごとに行うことで多彩な料理を生み出すことができます。レシピ化することで、直販、通販、食の観光など地域産業につながります。



食のテキスト化 茨城県常陸太田市



食のワークショップ 茨城県小美玉市

実績

福井県の蕎麦プロモーション事業。蕎麦のテキスト作成をアドバイス。東京都内の蕎麦店を借り切り、メディア350社に声をかけ蕎麦を愉しむ会開催。60メディアで取り上げられる。書籍「田舎の力が未来をつくる！」(合同出版)で紹介。高知県中土佐町の米農家「大野見エコロジーファーマーズ」と高知県立大学の連携、テキスト化をアドバイス。価格が倍以上に。通販でも売り上げを伸ばす。雑誌での特集を始め「実践！田舎力」(NHK出版)で紹介。50メディアで掲載される。

工夫した点や苦労した点

地域の詳細なテキストを作成しノウハウの残す意義を理解してもらうこと。食材の環境調査から品種や履歴を明確にしてもらう。ワークショップでは、地域の食材の調査も欠かせない。予算がほとんどとられていない状況が多く、活動をうまく展開するには自治体職員の協力なくしてはできない。テキスト作成、プロモーションも、現場のリサーチから、場所の設定、集客を含めて、かなりの時間とこまやかな手間がかかるということを理解してもらう必要がある。

ひとことPR

食のテキストとをワークショップの連携は、地域の豊かさを具体的に表すことができます。実践すれば食を発信できノウハウが地域に形成されます。ブランド化、プロモーション、六次産業化、食育、学校給食、さらには食と観光を連携させることができるプロジェクトです。取り組んでもらえれば間違いなく絶大な効果を発揮するでしょう。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
○ 6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
○ 地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	人材研修
働き方改革	○ ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域プランディング
官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

金丸弘美	http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/home/index.php

連絡先

メールアドレス	yuko [アットマーク] banraisya.co.jp		
---------	-------------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。